

ボーリング柱状図

調 査 名 平成28年度公営住宅(下山門住宅(2区2期))新築工事地
質調査委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 5				調査位置	福岡市西区下山門団地						北緯	33° 34' 43.6"					
発注機関	福岡市住宅都市局住宅部住宅建設課						調査期間	平成 28年 6月 25日 ~ 28年 10月 22日						東経	130° 18' 22.2"			
調査業者名	マルタニ試工株式会社 電話 (092-761-0761)				主任技師	諏訪真二		現場代理人			コア鑑定者	諏訪真二		ボーリング責任者	吉田安昭			
孔口標高	+0.359m	角 上 下 度 180° 90° 0°	方 向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦 D0-D				ハンマー 落下用具	半自動式						
総掘進長	25.00m					エンジン	NFD10-K				ポンプ	BG-3B						

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記 事	孔内 水位 (m) ／測定 月日	標準貫入試験					原位試験		試料採取		室内 試験 (掘進 月日			
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃 回数 ／貫入 量 (cm)	N 値 ○	深 度 (m)	試 験 名 および結果 ()	深 度 (m)		試 料 番 号	採 取 方 法	
												0	10	20									
												10	20	30									
1	-0.84	1.20	1.20		埋土	褐灰			0.00～0.05mアスファルト。 以深はマサ土主体の埋土。 シルト混じり砂～砂状。	1.60 ▽	1.15	1/19	1/11	2/30	2								
	-1.44	0.60	1.80		粘土	暗灰		粘性大。 砂を少量含む。	1.45		2	2	3	7/30	7								
2					砂	灰			砂は中～粗砂である。 含水量多い。 全体にゆるい。		2.15	2	2	3	7/30								
3											2.45	2	3	3	8/30	8							
4	-3.94	2.50	4.30								3.15	2	3	3	8/30								
5					シルト 混じり 砂	暗灰			砂は5.00mまで微細砂、以深は微砂 主体である。 下部、細粒分を所々多く含む。 含水量多い。		3.45												
6											4.15	3	3	4	10/30	10							
7											4.45												
8					シルト 質砂	暗灰			砂は微細砂主体である。 細粒分を不均一に含む。 含水量多い。 ゆるい。		5.15	2	2	3	7/30	7							
9											5.45	2	2	1	5/30	5							
10	-6.14	2.20	6.50								6.15												
11											6.45	1	1	1	3/30	3							
12											7.15												
13											7.45	1	1	1	3/30								
14	-9.24	3.10	9.60								8.15	1/16	1/14	2/30	2								
15											8.45												
16											9.15	1/12	1/18	2/30	2								
17											9.45												
18	-10.34	1.10	10.70		砂混じ り粘土	暗茶			粘性大。 腐植土を含む。 砂と粘土の互層状。		10.15	1	1	1	3/30	3							
19											10.45												
20	-11.44	1.10	11.80		砂	淡灰			砂は粗砂主体。 含水量多い。 少量の細礫を混入する。		11.15	6	7	7	20/30	20							
21											11.45												
22											12.15	2	2	3	7/30	7							
23											12.45												
24					茶灰、 黄青灰、 青灰				頁岩の風化帯である。 コアは指圧にて崩すとシルト～砂質 シルト状を呈する。 局部的に軟岩岩片状コア混じる。 13.00mまで炭粉を含む。 13.00～14.00m間に炭質頁岩の薄層 を挟む。		13.15	3	5	6	14/30	14							
25											13.45												
26											14.15	6	9	10	25/30	25							
27											14.45												
28											15.15	8	8	10	26/30	26							
29											15.45												
30											16.15	6	6	7	19/30	19							
31											16.45												
32	-17.14	5.70	17.50								17.15	9	12	16	37/30	37							
33											17.45												
34					頁岩	黄青			軟岩岩片～礫状コア主体である。 岩片はハンマーの軽打にて脆く砕ける。		18.15	19	22	9/3	50/23	65							
35	-18.64	1.50	19.00								18.38												
36											19.15	5	9	11	25/30	25							
37											19.45												
38					風化頁岩	青灰、 黄青灰			頁岩の風化帯である。 コアは指圧にて崩すと砂質シルト～ シルト状を呈する。 20.00m付近に軟岩礫状コア混じる。		20.15	16	19	15/9	50/29	52							
39											20.44												
40	-21.34	2.70	21.70								21.15	9	10	12	31/30	31							
41											21.45	50/2			50/2	750							
42											22.10												
43					砂岩	淡青灰			23.00mまで中～粗粒砂岩、以深は 細～中粒砂岩である。 23.00mまで岩片～スライス状コアで ある。 岩片はハンマーの打撃にて砕ける。 23.00m以深は礫状コアで所々砂礫 状を呈する。		22.12												
44											23.15	25	25/7		50/17	88							
45											23.32	50/7			50/7								
46											24.00												
47	-24.64	3.30	25.00								24.07												
48											25.05	50			50/10	150							
49											25.15												